



『地域人材育成研究』第5号の位置づけと使用について

『地域人材育成研究』第5号～第8号は、シリーズで島根県立吉賀高等学校を特集します。吉賀高校は島根県西部の中山間地域に位置する島根県で最も小さい県立高校です。2011年からスタートした島根県「離島・中山間地域高校魅力化・活性化事業」に初年度から参加した高校であり、いち早く県外生募集の他、寮、公設塾といったハード面での整備を行い、アントレプレナーシップ教育という地域の特色を生かした教育で起業家精神の教育やキャリア教育を行っています。第5号は歴代校長の語りから、吉賀高校の高校魅力化の発展の背景と意義をアーカイブ（記録）します。

第5号はやや教育研究（教育史、教育行政学、教育社会学）の色が濃い構成となっています。

中学生と保護者の皆様には今の高校魅力化を創り上げた教員たちの姿を吉賀高校を受験する際の参考資料として利用していただけると幸いです。行政と高校教員、地域の皆様には、高校魅力化を推進する参考資料として利用していただけると幸いです。

『地域人材育成研究』の研究上の位置づけは、地域人材育成研究会が行った調査のデータを公開しアーカイブ化することを目的としています。研究者の皆様や卒業論文の執筆等を行う若い皆様には、研究の資料として利用していただき、また、ご意見をいただけると幸いです。私たちは今後、本号の内容をもとに研究を進め、成果を公表する予定です。

最後になりましたが、『地域人材育成研究』の著作権の全ては本研究会に帰属します。ただし、出典を記載してあれば、本誌の一部または全部を、印刷物か電子データかの形式を問わず、複製や改変や再配布することができます。本誌をみなさんでご活用いただけましたら幸いです。

ただし写真に関しては、写真を抜き出して複製や改変して利用する場合には、島根県立吉賀高等学校の許可を得ることを条件といたします。本誌に使用されている写真は島根県立吉賀高等学校から提供を受け、本誌での使用の許可を得ています。